

85-2

年少労働調査資料 第23集

新聞配達をしている年少者

昭和28年9月

労働省婦人少年局

は し が き

年少労働者は発育途上にあるために、労働が心身に及ぼす影響は、成人に比べて特に著しい。即ち種々の労働環境労働条件が、年少者の体格、生理的機能、精神的機能の発達に障害を与えることが、労働科学的に多くの事例によつて実証されている。労働基準法では以上のような観点から年少労働者を保護し、また就学を保障するために、原則的には満15才未満の児童の労働を禁止しているが、健康および福祉に有害でなく、労働が軽易な非工業的事業部門に働く場合だけ、労働基準監督署長の使用許可証明書を得て修学時間外に就業することができると規定している。そこで、使用許可証明書を受けて働いている児童の業務の中から、就業者が最も多く、また特殊な労働条件をもつ新聞配達児童をえらび、実態調査を行つて、年少労働者保護の基礎資料とするものである。

目 次

一	調 査 の 目 的	1
二	調査の対象および対象抽出の方法	1
三	調 査 の 方 法	2
四	調 査 の 結 果	2
	I、労働の状態	2
	II、新聞配達と学業との関連	11
	III、新聞配達年少者の家庭状況	12
	IV む す び	13
五	附表および調査原票	15

新聞配達をしている年少者

一、調査の目的

労働基準法の、15才未満の者に対する使用許可証明書の制度は、労働により年少者の発育が阻害される事を防止するためである。この目的にそつて、就業年少者の労働環境、労働条件には特に考慮が払われなければならない。

こゝで調査した新聞配達業は、15才未満の年少者（児童という言葉の方が適切ではあるが、以下年少者と総称する。）が最も多く働いている職種で、（昭和26年4月から27年3月までの調査一婦人少年局調一によると使用許可証明書をえて働いている者の66.9%を占めている。）同時に労働時間が朝あるいは夕刻と修学時間外に限られているため、就学と労働が両立し易いという点で特殊なものである。そこで新聞配達年少者の労働環境、労働条件、労働実状、家庭環境等を明らかにして、学令期にある年少労働者保護の資料とするものである。

二、調査の対象および対象抽出の方法

1. 調査対象

東京都内の新聞配達年少者 241名

（註）これらの年少者の働いている東京都内の朝日、毎日、読売、産業経済の新聞販売所は約790で、その内20%に当る35販売所について予め、予備調査を行い年少者数を調べてから本調査を行った。

2. 調査対象抽出の方法

新聞配達年少者が雇用されている新聞販売所を、次の三点を考慮して選び、そこで働いている新聞配達年少者全員を調査対象とした。

（イ）地域別に新聞配達の労働条件、労働環境等の特色をみるために、便宜上三地域に分け、住宅街としては新宿区、杉並区世田谷区、商店街は台東区、江東区、ビル街は千代田区、中

中央区を選び、その各々の地域にある新聞販売所をほぼ同数選びだした。

(ロ) 新聞販売所が系統別に分れているので(専売制)朝日、毎日、読売、産業経済等代表的な新聞の販売所を選んだ。

(ハ) 新聞配達年少者を比較的多勢雇用している販売所であること。

三、調査の方法

1. 担 当

婦人少年局係員および臨時調査員

2. 内 容

調査担当者が、新聞配達年少者の家を訪ね、本人に面接して末尾に添えた調査票によつて質問し、解答を記入した。

3. 実施期間

昭和28年3月15日～3月28日

四、調査の結果

I 労働の状況

1. 調査人員

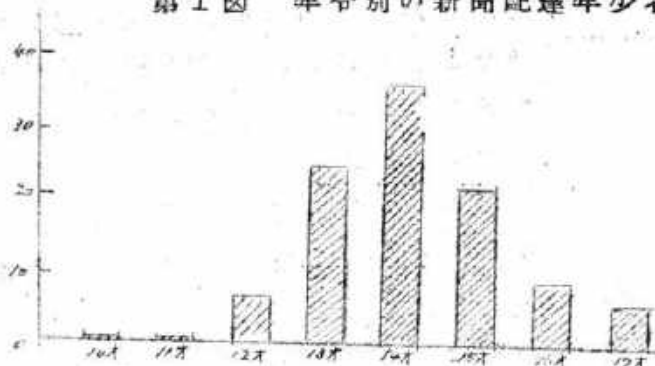
調査の対象となつた新聞配達年少者は男子241名で、地域による特色をみるために、便宜上三地域に分けると、住宅街は142名、商店街は69名、ビル街は30名である。

— 附表第1表 —

2. 年 令

241名の新聞配達年少者の年令は、10才から17才までで、(それ以上は少数であり、又法の対象ともならない) 14才が最も多く、85名、35.3%でピークとなり、13才23.6%、15才21.2%となつていて、13才から15才までの者が全体の約80%を占め、この年令層が圧倒的に多い事を示している。

第1図 年令別の新聞配達年少者



第1表 年令別の新聞配達年少者

年 令	人 員 数	
	実 数	比 率
計	241名	100%
10才	1	0,4
11	1	0,4
12	14	5,8
13	57	23,6
14	85	35,3
15	51	21,2
16	20	8,3
17	17	5,0

3. 勤続年数

勤続年数は6ヶ月以上1年未満の者が最も多く23,6%を占め、全体の76,7%は1年未満である。このように、新聞配達をしている年少者の勤続年数が比較的短いことは、後の調査結果に現われている疲労や、就学と労働の二重負担が原因であるのか、或は他に原因があるのか断定することは出来ないが、この点については更に掘り下げて調べる必要がある。

— 附表第2表 —

4. 新聞配達をはじめた原因

どうして新聞配達をしなければならなかつたのかと言う質問に対して、学費がないため、28.8%、家庭が貧しいから、24.7%で、約50%以上の者が原因として、家計を補助し、自分の学費を稼ぎ出さなければならない家庭の事情を挙げている。仕事が好きだからと答えた者は僅か1.2%で、大部分が経済的な原因に基いていて、Ⅲの家庭状況の調査結果と合せると、家庭の経済事情が年少者の就業の原因であることが更に明らかにされる。 — 附表第3表 —

5. 就職の方法

年少者が新聞販売所に就職する方法は、友人から紹介された者が45.3%で半数近く、本人が直接に販売所に行つて就職した者が36.1%で、多くの者が彼ら自身で探し、仲間の間で紹介し合つて就職している。このように新聞配達に就く年少者の大部分は成人の手を借りずに自分達だけで就職している。 — 附表第4表 —

6. 使用許可証明書の有無

このようにして新聞配達に就業した年少者がどのようにして働いているか、先づ使用許可証明書の有無についてみると、158名の15才未満の新聞配達年少者の中、使用許可証明書をもっている者は僅かに13名、8.2%で、使用許可証明書の制度を知らない者が大部分であつた。特にビル街では使用許可証明書を得て働いている者は1名もなかつた。 — 附表第5表 —

7. 仕事の内容

新聞配達の仕事の内容は、件数を比率で表すと、配達が60.9%で最も多く、年少者が嫌つてゐる読者の拡張と集金が各々約12%を占めている。そして配達の件数は240件で調査対象の年少者数が241名であるから、大部分の者が新聞を配達して、その他に読者の拡張、集金等をしていることが判る。 — 附表第6表 —

8, 配達する新聞の種類

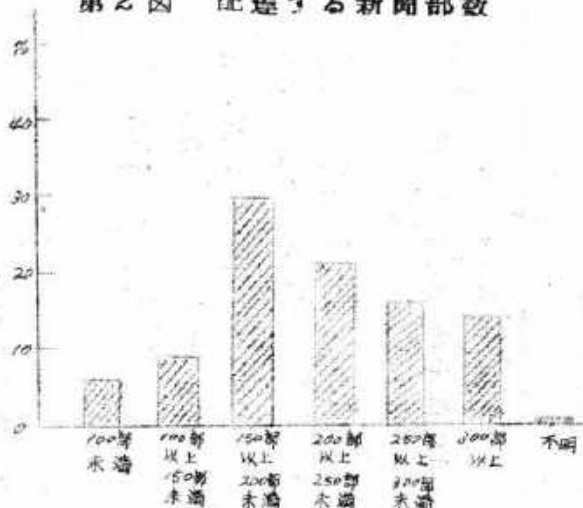
配達する新聞によつて分けると、夕刊だけ配達する者が最も多く38,7%で、朝刊だけ配達する者は33,8%、朝刊、夕刊両方を配達する者は27,5%である。 — 附表第7表 —

9, 受持の新聞配達部数

新聞の配達部数は、第2図のように分布していて最も多いのは、150部以上200部未満で29,7%次は200部以上250部未満21,3%、250部以上300部未満15,8%となつてゐる。

配達する新聞の種類別にみると、朝刊だけ、或は夕刊だけ配る者よりも、朝夕刊両方を配る者の受持部数が全般的に多くなつてゐるが、このことは当然のことであらう。

第2図 配達する新聞部数



的に多くなつてゐるが、このことは当然のことであらう。

— 附表第8表 —

10, 受持の新聞配達戸数

次に配達する受持戸数は第3図のようで、150戸以上200戸未満の者が39,6%で最も多く、次は100戸以上150戸未満の21,7%となつてゐる。

更に配達する新聞の種類別の傾向をみると、受持の新聞部数も、受持の戸数も朝刊の比率が最も低く、夕刊がそれに次ぎ、朝、夕刊を配る者が最も多くの新聞部数と戸数を受持つてゐることが示されてゐる。 — 附表第8表、第9表 —

11, 新聞を配る時刻 (配達開始時刻)

朝刊の配達時刻は、4時30分から5時59分までの間が大多数だが、約10%の者は4時からと答へてゐる。又、配達

第2表 配達する新聞部数

	計	100部未満	100部以上 150部未満	150部以上 200部未満	200部以上 250部未満	250部以上 300部未満	300部以上	不明
実数	240	14	32	71	51	38	33	1
比率	1000	5.8	13.3	29.7	21.3	15.8	13.7	0.4

第3表 受持の新聞配達戸数

	計	50戸未満	50戸以上 100戸未満	100戸以上 150戸未満	150戸以上 200戸未満	200戸以上 250戸未満	250戸以上 300戸未満	300戸以上	不明
実数	240	5	16	52	95	33	26	10	3
比率	1000	2.1	6.7	21.7	39.6	13.7	10.8	4.2	1.2

時刻は地域による相違があつてビル街の配達時刻は遅くなつてゐる。夕刊の配達時刻は、4時前の者約10%を除いては、4時から4時59分までの者が合せて約80%を占めている。そして朝刊の場合と反対にビル街の配達時刻は他より早くなつてゐる。このことは、ビル街ではその勤務者が出勤してから帰るまでの時間内に配達するためである。

—附表10表 第11表—

12. 労働時間

新聞配達年少者が、販売所に来てから配達を終るまでの時間は、1時間30

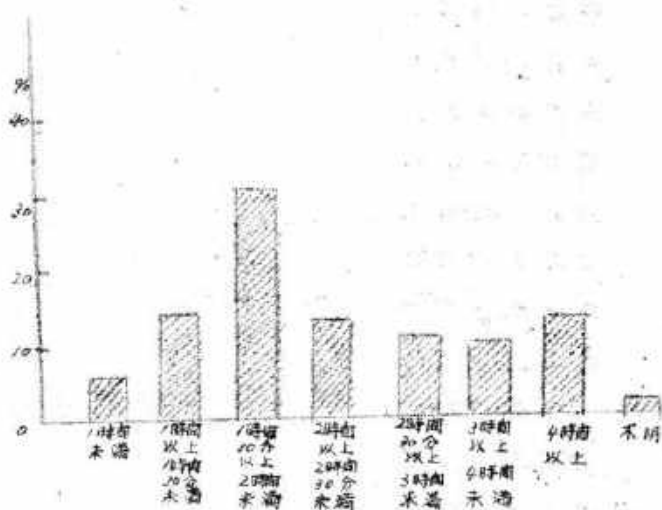
分以上2時間未済が約30%で最も多く、他は1時間以上から4時間以上迄に10%強の大体等しい割合で分布している。

朝刊だけ、或は夕刊だけを配つてゐる者の労働時間は1時間未済の者から3時間未済の者までだが、朝、夕刊両方を配る者の労働時間は2時間以上から4時間以上までとなつてゐる。

第3図 受持の新聞配達戸数



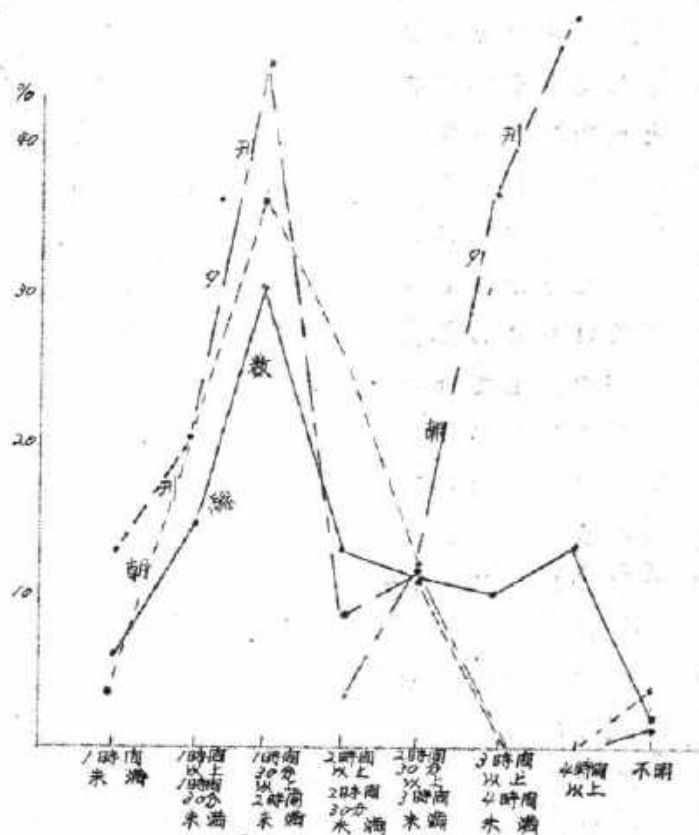
第4図 新聞配達年少者の労働時間



次に労働時間について配達する新聞別に比率すると夕刊を配っている者が最も短く、1時間未満から2時間未満までの比率が高く、朝刊を配っている者は1時間以上、2時間30分未満の比率が高く、朝刊と夕刊の両方を配る場合は4時間以上の者の比率が約50%、3時間以上4時間未満の者の比率が約35%となつていて、労働時間の短い者はごく僅かに過ぎない。

又朝刊を配つ 第5図 配達する新聞の種類別労働時間

ている者は、学校から帰つて昼寝をする者が多いが、朝刊、夕刊両方を配る者は修学時間の前後に長時間の労働時間があるため休息時間がなく、相当の労働強化になるのではないかと思われる。



13. 食事の時間 新聞配達年少 者の食事は朝 食、夕食とも

各々2名づつを除いては、大部分の者が仕事が終わった後にとつてゐる。このことは新聞配達時刻や、労働時間から考えれば当然のことと言えよう。そして多くの者が朝食は6時30分から7時30分までの間に、夕食は6時からおそくも7時30分位迄には済ませているので、食事時刻は仕事による影

第4表 新聞配達年少者の労働時間

朝・夕 刊別	計	1時間	1時間	1時間	2時間	2時間	3時間	4時間	不明	
		以上 1時間 30分 未 満	以上 1時間 30分 未 満	以上 2時間 30分 未 満	以上 2時間 30分 未 満	以上 3時間 未 満	以上 4時間 未 満	以上		
人 員 数	總 數	240	15	35	72	31	27	24	32	4
比 率 %	朝 刊	81	3	16	30	21	8			3
	夕 刊	93	12	19	42	8	11			1
	朝夕刊	66				12	8	24	32	
	總 數	100,0	6,2	14,6	30,1	12,9	11,2	10,0	13,3	1,7
	朝 刊	100,0	3,7	19,7	37,1	25,9	9,9			3,7
率	夕 刊	100,0	12,9	20,4	45,2	8,6	11,8			1,1
	朝夕刊	100,0				3,0	12,1	36,4	48,5	

響をうけていないように思われる。しかし朝刊の配達時刻が非常に早い場合とか、労働時間が長時間の場合は、全然食事をとらないで働くことは身体に良くないと考えられる。

14. 休日および欠勤

新聞配達年少者のうち97,1%の者は規定の休日が無くて働かされている。けれども実際には過去一ヶ月（調査時より）の間に約18%の者が休んでいて、その中病気の者が62,8%、学校の都合（大部分が試験期日のため）による者が30,2%を占めている。 — 附表第13表、第14表、第15表 —

新聞配達を休んだ時には、販売所の者或いは仲間のものが配達を代行している。 — 附表第16表 —

15. 賃金

先ず賃金構成をみると全体の53,4%が固定給で30,4%が歩合給である。地域別には差がみられ、住宅街は固定給と歩合給の比率が全体の傾向と逆になり、歩合給の方が高くなっている。特に朝、夕刊両方を配る者の比率は歩合給が75,0%を占めている。商店街は固定給ばかりである。

— 附表第17表 —

賃金の額は1000円以下の者から、5000円以上の者まで広い範囲にわたっているが、1000円以上2000円未満が約50%を占めている。次に配達する新聞別にみると、夕刊を配達する者の賃金額が最も高く、朝刊がそれに次ぎ、朝刊、夕刊両方を配る場合が額は最も高くなっている。併し労働時間の比率と賃金の比率を比べる時、朝・夕刊を配達する者は長時間労働にも拘らず、労働時間の割に賃金額が低いように思われる。賃金の支払方法は98%までが月払であつた。

16. 新聞配達年少者の仕事に対する感想（意見）

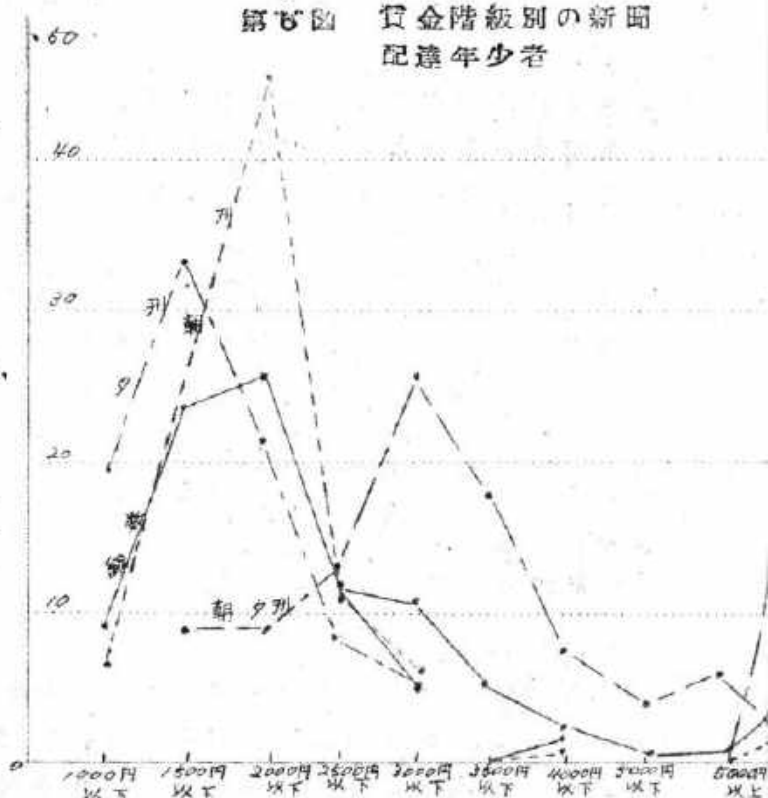
以上のような状態で働いている新聞配達年少者は仕事に対してどのような感想或は意見をもっているか、年少者自身の手記から調べてみたのが次の結果である。

「仕事は疲れますか」という問いに対して「疲れない」と答えた者は51.1%、「やゝ疲れる」43.1%、「大分疲れる」4.6%で、半数近くの者が疲れたを訴えている。次に「仕事は楽しいですか。」という

問には「楽し

い」と答えた者は0.3%、別に何とも感じないを答えた者は14.9%であつた。この二問を通じてビル街は約70%の者が疲れたを訴

第五圖 賃金階級別の新聞配達年少者



朝・夕刊別	計	1000円未満	1000円以上 1500円未満	1500円以上 2000円未満	2000円以上 2500円未満	2500円以上 3000円未満	3000円以上 3500円未満	3500円以上 4000円未満	4000円以上 5000円未満	5000円以上	不明
		240	23	58	63	29	27	12	7	3	4
総数	240										
朝刊	81	5	21	37	9	5		1			3
夕刊	93	18	31	20	8	5		1			10
朝・夕刊	66		6	6	12	17	12	5	3	4	1
総数	100.0	9.6	24.4	26.3	12.1	11.2	5.0	2.9	1.2	1.7	5.8
朝刊	100.0	6.2	25.9	45.7	11.1	6.2		1.2			3.7
夕刊	100.0	19.4	33.2	21.5	8.6	5.4	1.82	1.2			10.7
朝・夕刊	100.0		9.1	9.1	18.2	25.7	1.82	7.6	4.5	6.1	1.5

え、楽しいと答えた者は約20%に過ぎなく、地域差がはつきり現れている。

仕事の上で困る事としては、雨、雪等の天候によるものが44.8%、犬がほえる集金、読者の拡張をやらされるなどが各々9.4%を占めている。(241名中仕事上困る事があると答えた96名についての集計である。)

一附表第19表、第20表、第21表一

II、新聞配達と学業との関連

新聞配達の時刻は、修学時間の前後となつてゐるが、実際に学業に、直接、或いは間接の支障をきたすことがあるかどうかと言うことについて調べてみた。

17、新聞配達年少者の就学状態

241名中小学校在学者は5.4%、中学校は85.5%、高等学校は8.7%で大部分が中学校に在学している。そして学校の出席状態は、2名の病気欠席者があるだけで長期欠席者は1名もなかつた 一附表第22表一

18、修学時間と労働時間の関連について

朝刊を配達してから学校が始まるまでの時間は、余裕がないと答えた者は34%、30分未満の者は162%で、食事は仕事終了後にする者が大多数なので、これらの年少者は食事、或は学校の始業に支障があるのではないかと思われる。それ以外の者は30分から2時間以上の余裕があつて、学業には直接影響はないようにみられる。学校が終つてから夕刊を配達するまでの時間は、余裕のない者約30%、30分未満しかない者約30%で、約60%の者は学校から帰るとあわただしく新聞販売所に出かけている。又、中には学校を早退する者もあると言つてゐる。

地域別にみると、ビル街では配達時間が朝遅く、夕方早いため、朝刊を配つてから学校に行くまでの時間に余裕のない者約15%、学校から帰つて配達に行くまでの時間の余裕のない者約66%で多数の者が直接就学に支障をきたしている。

— 附表第23表、第24表 —

19. 学業との関連についての年少者の感想

「仕事をしていると学校の勉強の上で困ることがありますか」とより問に対して、32.6%の者が困る事があると答え、特にビル街では半数以上のものが困ると答えている。

— 附表第25表 —

困る理由としては、約14%が学校の遅刻、早退を、約44%は家で勉強が出来ない事を、又約26%は疲労を訴えている。ビル街は特に遅刻、早退が多く約23%がこの事を訴え、又各地域でも40%以上が勉強の出来ないことを答えている。以上の解答から、新聞配達が直接には就学時間を妨げ、間接には多くの者が訴えている勉強が出来ない事、疲労が激しい事等、年少者の心身の発達に好ましくない影響を与えていることが考えられる。

— 附表第26表 —

Ⅲ. 新聞配達年少者の家庭状況

241名の年少者が、新聞配達をして働かなければならなかつた、生活の基礎として彼らの家庭状況をみると、新聞配達年少者の

家庭の平均家族数は 5.4 名で、平均の労働している家族数は 1.7 名となつてゐる。

—附表第 27 表、第 28 表—
父が無い者は約 24%、母の無い者は約 11% で父や母のある者は大部分が父母と同居してゐる。—附表第 29 表、第 30 表—
父が働いてゐる者は 64.7% で、残りは家計の経済的な担い手が父でないことが示されてゐる。そして父が家計を担つてゐないためか父の収入が低額であるためか判らないが 27.8% の者は母が働いてゐる事を示してゐる。—附表第 31 表、第 32 表—
又 14.1% の者は家族に病人をかゝえてゐてその中 41.2% は父が病気となつてゐる。病名は結核が 38.2% で、1 年以上の長期にわたつてゐる者が半数近くゐる。

—附表第 33 表、第 34 表、第 35 表—
家庭の生計の中心者の職業は、会社員 25.8%、小売業 12.0%、公務員 10.4%、工員 6.6% を除いては、自由労務者 22.8%、内職 10.8%、行商 3.3%、日雇 2.9% 等比較的収入の不安定な職業が多く、又失業も 1.7% を示してゐる。

—附表第 36 表—
このように家計の中心者の収入が不安定なことは、調査員が面接のために彼らの家庭をたづねた時、大部分の家庭が貧困な状態を示してゐたことから憂づけられる。そこで年少者が新聞配達をするようになったのは、家庭の経済的貧困が原因であることは明らかである。このことは、前に就職の動機として年少者が答へてゐる「家庭の貧困」、「学費がないため」という解答と一致するものである。

IV む す び

新聞配達年少者の調査結果から觀察される諸点をまとめると、次のようなことが言える。

- (1) 新聞配達をしている年少者は、大多数が 13、14、15 才の中学校在学者で、大部分の者が使用許可証明書なしに働いてゐる。そして多くの者が、朝刊は午前 4 時 30 分から 5 時 30 分、夕刊は午後 4 時から 4 時 30 分頃に配達をはじめ、1 時間 30 分から 1 日 2 時間位の労働をしている。併し約 27% に

当る朝夕刊両方を配る者は、その約半数が1日4時間以上の労働をしている。平均賃金は約半数の者が1000円から2000円の間の額で働いていて、朝夕刊両方を配る場合はこれより幾分高くなっている。又殆どの者が休日の規定もなく働かされている。このような状態で働くことに対して、半数近くが疲労を訴えている。

- (2)新聞配達をするために学校を長期欠席している者は無いが、学業と新聞配達とを両立させるために、直接には学校を遅刻早退し、間接には勉強が出来ない。疲労する等と訴えている者が相当数にのぼっている。
- (3)新聞配達年少者の家庭は概して恵れず、家庭の貧困が彼らを新聞配達として働かせる原因であることは、調査結果からも又面接のため家庭を訪問した調査員の観察からも明らかである。
- (4)以上述べてきたように、新聞配達は修学時間外の労働であるが、労働時刻、労働時間、労働日等の労働状態と、就学の二重負担を考える時、発育期の年少者の身体に対して決して軽い負担であるとは思えない。又学業の面から考えても、直接に修学時間が減じ、間接には家で勉強する時間がなく、疲労を訴え労働をしない一般学生と較べるとはるかに困難な条件の下で勉強している。このように、年少者にとっては新聞配達をすることが好ましくないにも拘らず、家庭の経済的貧困が救われない限り、彼らの就職に対して、法的に何らの制限も加えることの出来ない現状にあつては、むしろ年少者の就職の門を閉さないようにする反面、出来る限りの労働条件の向上を計ることが望ましい。

五 附表及び調査原票

I 労働の状態

第1表 地域別の新聞配達年少者

地 域	年 令	人 員 数	
		実 数	比 率
總 数	計	241	100
	10	1	0.4
	11	1	0.4
	12	14	5.8
	13	57	23.6
	14	85	35.3
	15	51	21.2
	16	20	8.3
	17	12	5.0
住 宅 街	計	142	100
	10	1	0.7
	11	1	0.7
	12	10	7.0
	13	35	24.6
	14	53	37.4
	15	21	14.8
	16	14	9.9
	17	7	4.9
商 店 街	計	69	100
	10		
	11		
	12	4	5.8
	13	13	18.8
	14	20	29.0
	15	26	37.8
	16	3	4.3
	17	3	4.3
ビ ル 街	計	30	100
	10		
	11		
	12		
	13	9	30.0
	14	12	40.0
	15	4	13.3
	16	3	10.0
	17	2	6.7

第2表 新聞配達年少者の勤続年数

実数	比率	地域	計	1月未満	1月以上 3月未満	3月以上 6月未満	6月以上 1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上	不明
実数		総数	241	28	53	47	57	38	11	4	3
		住宅街	142	21	29	28	32	21	5	4	2
		商店街	69	5	12	13	18	15	5		1
		その他	30	2	12	6	7	2	1		
比率		総数	100.0	11.6	22.0	19.5	23.6	15.8	4.6	1.7	1.2
		住宅街	100.0	14.8	20.4	19.7	22.6	14.8	3.5	2.8	1.4
		商店街	100.0	7.2	17.4	18.9	26.1	21.8	7.2		1.4
		その他	100.0	6.7	40.0	20.0	23.3	6.7	2.3		

注) 昭和28年3月末日現在で計算した。

第3表 新聞配達をはじめた理由

実数	比率	地域	計	家庭の貧困	学費がない	小遣が欲しい	買物がある	貯金したい	仕事好き	その他	不明
実数		総数	324	80	93	88	42	5	4	11	1
		住宅街	191	43	52	44	34	5	4	8	1
		商店街	94	26	28	33	6			1	
		その他	39	11	13	11	2			2	
比率		総数	100.0	24.7	28.7	27.2	13.0	1.5	1.2	3.4	0.3
		住宅街	100.0	22.5	27.3	23.0	17.8	2.6	2.1	4.2	0.5
		商店街	100.0	27.6	30.0	35.1	6.2			1.1	
		その他	100.0	28.2	33.4	28.2	5.1			5.1	

注) 理由別の件数をとった。

第4表 就 職 の 方 法

	地 域	計	本人直接	職業安定所	そ の 他				
					先 生	家 族	友 人	近 所の人	そ の 他
実 数	総 数 住 宅 街 商 店 街 ビ ル 街	241	87	1	5	22	109	8	9
		142	57	1	2	12	59	4	7
		69	26			7	31	3	2
		30	4		3	3	19	1	
比 率	総 数 住 宅 街 商 店 街 ビ ル 街	100.0	36.1	0.4	2.1	9.1	45.3	3.3	3.7
		100.0	40.1	0.7	1.4	8.5	41.6	2.8	4.9
		100.0	37.7			10.1	45.0	4.3	2.9
		100.0	13.3		10.0	10.0	63.4	3.3	

第5表 使用許可証明書の有無

	地 域	計	使用許可証明 書のある者
実 数	総 数 住 宅 街 商 店 街 ビ ル 街	158	13
		100	7
		37	6
		21	
比 率	総 数 住 宅 街 商 店 街 ビ ル 街	100.0	8.2
		100.0	7.0
		100.0	16.2
		100.0	

註) 15才未満の新聞配達年少者158名について比率をたした。

第6表 仕 事 の 内 容

	地 域	計	輸 送	配 達	拡 張	紙 分	集 金	そ の 他 の 種 務	不 明
実 数	総 数 住 宅 街 商 店 街 ビ ル 街	394	12	240	51	14	50	26	1
		256	12	141	33	11	39	19	1
		92		89	13		6	4	
		46		30	5	3	5	3	
比 率	総 数 住 宅 街 商 店 街 ビ ル 街	100.0	3.0	60.9	12.9	3.6	12.7	6.6	0.3
		100.0	4.7	55.1	12.9	4.3	15.2	7.4	0.4
		100.0		75.0	14.2		6.5	4.3	
		100.0		65.2	10.9	6.5	10.9	6.5	

注) ここにある数は仕事の内容別の件数である。

第7表 朝刊、夕刊、朝夕刊 配達年少着数

朝 夕 刊 別	年 令 別	人 員 数	
		実 数	比 率
總 数	計	241	100.0
	10	1	
	11	1	
	12	14	
	13	57	
	14	85	
	15	51	
	16	20	
	17	12	
	計	81	33.8
朝 刊	10	1	
	11		
	12	12	
	13	27	
	14	21	
	15	11	
	16		
	17	9	
	計	93	38.7
	夕 刊	10	1
11			
12		8	
13		26	
14		38	
15		14	
16		3	
17		3	
計		93	38.7
朝 夕 刊		10	
	11		
	12	5	
	13	19	
	14	20	
	15	16	
	16	6	
	17		
	計	73	29.5
	不明	11	1

注) 不明…朝、夕刊別の不明ノ名は実数には含めたが比率では除いてある。

第8表 受持の新聞配達部数

	朝・夕刊別	計	100部未満	100部以上 150部未満	150部以上 200部未満	200部以上 250部未満	250部以上 300部未満	300部以上	不明
実数	総数	240	14	32	71	51	38	33	1
	朝刊	81	3	17	27	18	8	8	0
	夕刊	93	9	9	32	17	16	10	0
	朝夕刊	66	2	6	12	16	14	15	1
比率	総数	100.0	5.8	13.3	29.7	21.3	15.8	13.7	0.4
	朝刊	100.0	3.7	21.0	33.3	22.2	9.9	9.9	
	夕刊	100.0	9.7	9.7	34.5	18.3	17.2	10.8	
	朝夕刊	100.0	3.0	9.1	18.2	24.3	21.2	22.7	1.5

注) 朝・夕刊別の不明ノ名は除いてある。以下、朝・夕刊別表の総数は240名とする

第9表 受持の新聞配達戸数

	朝・夕刊	計	50戸未満	50戸以上 100戸未満	100戸以上 150戸未満	150戸以上 200戸未満	200戸以上 250戸未満	250戸以上 300戸未満	300戸以上	不明
実数	総数	240	5	16	52	95	33	26	10	3
	朝刊	81	0	6	23	29	11	8	4	0
	夕刊	93	5	7	19	40	11	9	2	0
	朝夕刊	66	0	3	10	26	11	9	4	3
比率	総数	100.0	2.1	6.7	21.7	39.6	13.7	10.8	4.2	1.2
	朝刊	100.0		7.4	28.4	35.8	13.6	9.9	4.9	
	夕刊	100.0	5.4	7.5	20.4	43.0	11.8	9.7	2.2	
	朝夕刊	100.0		4.5	15.2	39.4	16.7	13.6	6.1	4.5

第10表 朝刊配達開始時刻

	地 域	計	午前 4時から 4時29分まで	4時30分から 4時59分まで	5時から 5時29分まで	5時30分から 5時59分まで	6時から 6時29分まで	6時30分から
実 数	總 数	147	16	42	42	31	13	3
	住宅街	89	8	25	35	19	2	
	商店街	45	8	15	4	9	7	2
	ビル街	13		2	3	3	4	1
比 率	總 数	100.0	10.9	28.6	28.6	21.1	8.8	20.0
	住宅街	100.0	9.0	28.1	39.4	21.3	2.2	
	商店街	100.0	17.8	33.3	8.9	20.0	15.6	4.4
	ビル街	100.0		15.4	23.1	23.1	30.7	7.7

注) 総数は朝刊配達者の数である

第11表 夕刊配達開始時刻

	地 域	計	午後 3時から 3時29分まで	3時30分から 3時59分まで	4時から 4時29分まで	4時30分から 4時59分まで	5時から
実 数	總 数	156	3	15	82	40	16
	住宅街	77	2	1	45	20	11
	商店街	50		2	23	20	5
	ビル街	27	1	12	14		
比 率	總 数	100.0	1.9	9.6	52.5	25.5	10.1
	住宅街	100.0	2.5	1.3	57.0	25.3	13.9
	商店街	100.0		4.0	46.0	40.0	10.0
	ビル街	100.0	3.7	44.4	51.9		

注) 総数は夕刊配達者の数である

※12表 新聞を配達する時間（労付時間）

	朝、夕刊別	地 域	計	1 時 間 未 満	1 時 間以上 1 時 間30分 未 満	1 時 間30分 以上 2 時 間 未 満	2 時 間以上 2 時 間30分 未 満	2 時 間30分 以上 3 時 間 未 満	3 時 間以上 4 時 間 未 満	4 時 間以上	不 明
実 数	総 数		240	15	35	72	31	27	24	32	4
	朝 刊	總 数	81	3	16	30	21	8			3
		住宅街	61	3	12	21	15	7			3
		商店街	17		4	7	5	1			
		ビル街	3			2	1				
	夕 刊	總 数	93	12	19	42	8	11			1
		住宅街	52	9	11	20	5	6			1
		商店街	24	2	6	12	1	3			
		ビル街	17	1	2	10	2	2			
比 率	朝 刊	總 数	66				2	8	24	32	
		住宅街	28					3	15	10	
		商店街	28				2	2	8	16	
		ビル街	10					3	1	6	
	夕 刊	總 数	100.0	6.2	14.6	30.1	12.9	11.2	10.0	13.3	1.7
		住宅街	100.0	3.7	19.7	37.1	25.9	9.9			3.7
		商店街	100.0	4.9	19.7	34.4	24.6	11.5			4.9
		ビル街	100.0		23.5	41.2	29.4	5.9			
	朝、夕刊	總 数	100.0	12.9	20.4	45.2	8.6	11.8			1.1
		住宅街	100.0	17.3	21.2	38.5	9.6	11.5			1.9
		商店街	100.0	8.3	25.0	50.0	4.2	12.5			
		ビル街	100.0	5.9	11.8	59.9	11.8	11.8			
比 率	朝、夕刊	總 数	100.0				3.0	12.1	36.4	48.5	
		住宅街	100.0					10.7	53.6	35.7	
		商店街	100.0				7.1	30.0	28.6	34.2	
		ビル街	100.0						10.0	60.0	

第 13 表 休日規定の有無

	地域別	計	無	有		
				計	週 / 日	不明
実 数	計	241	234	7	5	2
	住宅街	142	136	6	5	1
	商店街	69	69			
	ビル街	30	29	1		1
比 率	計	100.0	97.1	2.9		
	住宅街	100.0	95.8	4.2		
	商店街	100.0	100.0			
	ビル街	100.0	96.7	3.3		

注) 正月の新聞休刊日は休日に含まない。

第 14 表 新聞配達年少者の欠勤の有無とその日数

	地域別	計	無 休	休 日 日 数					
				計	1日	2日	3日	4日以上	不明
実 数	計	241	198	43	10	18	5	9	1
	住宅街	142	122	20	4	9	3	3	1
	商店街	69	52	17	4	8	1	4	
	ビル街	30	24	6	2	1	1	2	
比 率	計	100.0	82.2	17.8					
	住宅街	100.0	85.9	14.1					
	商店街	100.0	75.4	24.6					
	ビル街	100.0	80.0	20.0					

第 15 表 欠 勤 の 理 由

	計	家事都合	学校の都合	病 気	不明
実 数	43	2	13	27	1
比 率	100.0	4.7	30.2	62.8	2.3

注) 1. 欠勤者43名について調べた。
2. 学校の都合-----試験期日のため休んだもの。

第 16 表 出勤した時の新聞配達者

	計	店 1 人	代 人	不 明
実 数	241	59	115	67
比 率	100.0	24.5	47.7	27.8

- 注) 1. 「店 1 人」とは新聞販売所に勤務している人をさす。
 2. 「代 人」とは朝(夕)刊を配達している人は同じ家に又(朝)刊を配達している人のことをさす。
 3. 規定休日についての解答は、休日自体が少いたため非常に少数なのでこゝでは省いた。

第 17 表 賃 金 構 成

	地 域	新聞 夕刊別	計	固 定 給	歩 合 給	混 合	不 明
実 数	総 数		240	128	73	8	31
	住 宅 街	総 数	141	49	63	8	21
		朝 刊	61	27	28	3	3
		夕 刊	52	19	14	5	14
		朝 夕 刊	28	3	21		4
	商 店 街	総 数	69	64			5
		朝 刊	17	14			3
		夕 刊	24	24			
		朝 夕 刊	28	26			2
	ビ ル 街	総 数	30	15	10		5
		朝 刊	3		3		
		夕 刊	17	10	3		4
		朝 夕 刊	10	5	4		1
比 率	総 数		100.0	53.4	30.4	3.3	12.9
	住 宅 街	総 数	100.0	34.8	44.6	5.7	14.9
		朝 刊	100.0	44.3	45.9	4.9	4.9
		夕 刊	100.0	36.6	26.9	9.6	26.9
		朝 夕 刊	100.0	10.7	25.0		14.3
	商 店 街	総 数	100.0	92.8			7.2
		朝 刊	100.0	82.4			17.6
		夕 刊	100.0	100.0			
		朝 夕 刊	100.0	92.1			7.1
	ビ ル 街	総 数	100.0	50.0	33.3		16.7
		朝 刊	100.0		100.0		
		夕 刊	100.0	58.9	17.6		23.5
		朝 夕 刊	100.0	50.0	40.0		10.0

第 18 表 賃 金 階 級 別 の 新 聞 配 送 年 少 者

	朝 夕 刊 別	地 域	計	1,000円 未 満	1,000円 ・ 以上 1,500円 未 満	1,500円 以上 2,000円 未 満	2,000円 以上 2,500円 未 満	2,500円 以上 3,000円 未 満	3,000円 以上 3,500円 未 満	3,500円 以上 4,000円 未 満	4,000円 以上 4,500円 未 満	5,000円 以 上	不 明
美 敦	総 数		240	23	58	63	29	27	12	7	3	4	14
	朝 刊	総 数	81	5	21	37	9	5		1			3
		住宅街	61	5	18	30	4	1		1			2
		商店街	17		3	7	5	2					1
		ビル街	3					2					
	夕 刊	総 数	93	18	31	20	8	5		1			10
		住宅街	52	15	14	5	5	3		1			9
		商店街	24	3	5	11	3	2					
		ビル街	17		12	4							1
	朝 夕 刊	総 数	66		6	6	12	17	12	5	3	4	1
		住宅街	28		3	3	5	8	5	1	1	2	
		商店街	28		3	3	4	7	6	3	2		
		ビル街	10				3	2	1	1		2	1
北 条	総 数		100.0	9.6	24.2	26.3	12.1	11.2	5.0	2.9	1.2	1.7	5.8
	朝 刊	総 数	100.0	6.2	25.9	45.7	11.1	6.2		1.2			3.7
		住宅街	100.0	8.2	27.5	49.2	6.6	1.6		1.6			3.3
		商店街	100.0		17.6	41.2	29.4	11.8					
		ビル街	100.0					6.7					33.3
	夕 刊	総 数	100.0	19.4	33.2	21.5	8.6	5.4		1.2			10.7
		住宅街	100.0	28.9	26.7	9.6	9.6	5.8		1.9			17.3
		商店街	100.0	12.5	20.8	45.9	12.5	8.3					
		ビル街	100.0		70.6	23.5							5.9
	朝 夕 刊	総 数	100.0		9.1	9.1	18.2	25.7	18.2	7.6	4.5	6.1	1.5
		住宅街	100.0		10.7	10.7	17.9	28.5	17.9	3.6	3.6	7.1	
		商店街	100.0		10.7	10.7	14.3	25.1	21.4	10.7	2.1		
		ビル街	100.0				30.0	29.0	10.0	10.0		20.0	10.0

第 19 表 新聞配達年少者の疲労の有無

	地 域	計	大 変 疲れる	や や 疲れる	疲れない	不 明
実 数	総 数	241	11	104	123	3
	住宅街	142	6	56	78	2
	商店街	69	1	31	36	1
	ビル街	30	4	17	9	
比 率	総 数	100.0	4.6	43.1	51.1	1.2
	住宅街	100.0	4.2	39.4	55.0	1.4
	商店街	100.0	1.4	44.9	52.3	1.4
	ビル街	100.0	13.3	56.7	30.0	

第 20 表 新聞配達年少者の仕事に対する興味の有無

	地 域	計	楽しい	感じない	楽しくない	不 明
実 数	総 数	241	158	36	20	27
	住宅街	142	111	12	7	12
	商店街	69	40	12	7	10
	ビル街	30	7	12	6	5
比 率	総 数	100.0	65.6	14.9	8.3	11.2
	住宅街	100.0	78.1	8.5	4.9	8.5
	商店街	100.0	58.0	17.4	10.1	14.5
	ビル街	100.0	23.3	40.0	20.0	16.7

第 21 表 新聞配達をして最も困る事

	地 域	計	雨 塵	大が吠る	賃 金 の低いこと	集 金 の難	新聞を 取られる	その他	不 明
実 数	総 数	96	43	9	5	9	3	22	5
	住宅街	46	16	7	3	8	2	5	5
	商店街	29	19	2		1	1	6	
	ビル街	21	8		2			11	
比 率	総 数	100.0	44.8	9.4	5.2	9.4	3.1	22.9	5.2
	住宅街	100.0	34.8	15.2	6.5	17.4	4.3	10.9	10.9
	商店街	100.0	65.6	6.9		3.4	3.4	20.7	
	ビル街	100.0	38.1		9.5			52.4	

注) 241 名の新聞配達年少者の中 仕事の上で困ることがあると答えた 96 名についてその理由別に集計した。

Ⅱ 新聞配達と学業との関係
第 22 表 新聞配達年少者の就学状況

	地 域	計	小 学 校			中 学 校				高 等 学 校				在学せず
			計	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	
実 数	総 数	241	13	4	9	206	70	87	49	21	8	12	1	1
	住宅街	142	11	4	7	118	41	50	27	12	5	7	—	1
	商店街	69	2	—	2	62	16	28	18	5	2	3	—	—
	ビル街	30	—	—	—	26	13	9	4	4	1	2	1	—
比 率	総 数	100.0	5.4			85.5				8.7				0.4
	住宅街	100.0	7.7			83.1				8.5				0.7
	商店街	100.0	2.9			89.9				7.2				
	ビル街	100.0				86.7				13.3				

注) 現在学校に行っていない者(長期欠席者)は皆無で商店街に2,3日病気で欠席している者が2名あった。

第 23 表 労働時間と修学時間の間の余裕の有無(朝刊配達後)

	地 域	計	余裕なし	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 1時間30分 未 満	1時間30分 以上2時間 未 満	2時間以上 2時間30分 未 満	2時間30分 以 上	不 明
実 数	総 数	148	5	24	32	28	39	11	4	5
	住宅街	90	1	14	16	18	23	9	4	5
	商店街	45	2	5	14	8	14	2		
	ビル街	13	2	5	2	2	2			
比 率	総 数	100.0	3.4	16.2	21.6	18.9	26.4	7.4	2.7	3.4
	住宅街	100.0	1.1	15.6	17.8	20.0	25.6	10.0	4.4	5.5
	商店街	100.0	4.4	11.2	31.1	17.8	31.1	4.4		
	ビル街	100.0	15.4	38.4	15.4	15.4	15.4			

注) 朝刊配達者について調べた。

第 24 表 修学時間と労働時間の間の余裕の有無(学校終了後夕刊配達まで)

	地 域	計	余裕なし	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 1時間30分 未 満	1時間30分 以上2時間 未 満	2時間 以 上	不 明
実 数	総 数	157	49	47	34	13	3	3	8
	住宅街	81	16	25	19	10	2	3	6
	商店街	49	15	18	12	3	1		
	ビル街	27	18	4	3				
比 率	総 数	100.0	31.2	30.0	21.6	8.3	1.9	1.9	5.1
	住宅街	100.0	19.7	30.9	23.5	12.3	2.5	3.7	7.4
	商店街	100.0	30.6	36.7	24.5	6.1	2.1		
	ビル街	100.0	66.7	14.8	11.1				7.4

注) 1. 夕刊配達者の中、若干は未回答なので除いてある。2. 学校が退けてから仕事を始める迄の時間が少く、学校を早退しなくては配達出来ないと言った者もある。

第 25 表 修学と労働の二重負担による支障の有無

	地 域	計	有 り	無 し
実 数	総 数	241	78	163
	住宅街	142	44	98
	商店街	69	18	51
	ビル街	30	16	14
比 率	総 数	100.0	32.4	67.6
	住宅街	100.0	31.0	69.0
	商店街	100.0	26.1	73.9
	ビル街	100.0	53.3	46.7

第 26 表 支 障 の 理 由

	地 域	計	遅 刻	早 退	疲 勞	勉強不能	そ の 他	不 明
実 数	総 数	79	4	7	21	35	6	6
	住宅街	43	2	3	13	20	1	4
	商店街	19	1	1	5	8	2	2
	ビル街	17	1	3	3	7	3	
比 率	総 数	100.0	5.0	8.9	26.6	44.3	7.6	7.6
	住宅街	100.0	4.7	7.0	30.2	46.5	2.3	9.3
	商店街	100.0	5.3	5.3	26.3	42.1	10.5	10.5
	ビル街	100.0	5.9	17.6	17.6	41.3	17.6	

注) 支障ありと答えた者について理由を集計した。

Ⅲ 新聞配達年少者の家庭状況

第 27 表 平均家族数

新聞配達 年少者数	全家族数	平均家族数
241	1305	5.4

第 28 表 平均労働家族数

新聞配達 年少者数	労働家族 数	平均労働 家族数
241	413	1.7

第 29 表 新聞配達年少者の父の有無

	新聞配達 年少者	父の有る者			父の無い者
		計	同居	非同居	
実 数	241	183	179	4	58
比 率	100.0	75.9 100.0	97.8	2.2	24.1

第 30 表 新聞配達年少者の母の有無

	新聞配達 年少者	母の有る者			母の無い者
		計	同居	非同居	
実 数	241	213	213	0	28
比 率	100.0	88.4 100.0	100.0		11.6

第 33 表 家族の病気の者の数

	計	父	母	その他
実 数	34	14	5	15
比 率	100.0	41.2	14.7	44.1

注) 1. 病気の者34名について調べた。
2. その他の中 市が7名を占めている。

第 31 表 家族の労働状況(父)

	新聞配達 年少者	父の有る者	父が働いて いる者
実 数	241	183	156
比 率	100.0	100.0	85.2

第 32 表 家族の労働状況(母)

	新聞配達 年少者	母の有る者	母が働いて いる者
実 数	241	213	67
比 率	100.0	100.0	31.5

第 34 表 家族の病名

	計	結 核	その他	不 明
実 数	34	13	20	1
比 率	100.0	38.2	58.9	2.9

注) 1. 病気の者34名について調べた。
2. その他の病気は広範囲に分布している。

第 35 表 家族の病気の期間

	計	1 月 未 満	1 月以上 1 年未満	1 年 以 上	不 明
実 数	34	8	8	16	2
比 率	100.0	23.5	23.5	47.1	5.9

注) 病気の者34名について調べた。

第 36 表 家計の中心者の職業

	地 域	計	官公吏	会社員	工 農	小売業	行 商	自由労務	日 雇	内 雇	失 業	不 明
実 数	総 数	241	25	62	16	29	8	55	7	26	4	7
	住宅街	142	21	33	11	17	5	22	6	15	4	8
	商店街	69	3	18	5	11		20	1	10		1
	ビル街	30	1	11		1	3	13		1		
比 率	総 数	100.0	10.4	25.8	6.6	12.0	3.3	22.8	2.9	10.8	1.7	3.7
	住宅街	100.0	14.8	23.3	7.7	12.0	3.5	15.5	4.2	10.6	2.8	5.6
	商店街	100.0	4.3	26.0	7.2	15.9		29.1	1.4	14.5		1.4
	ビル街	100.0	3.3	36.7		3.3	10.0	43.4		3.3		

注) 1 自由労務とは大工、通木屋、花宮屋等である。

2 行商の中に新聞配達も含む

新聞配達に従事する年少労働者の実態調査表

I 基本事項

使用許可証明書 有 無

配達新聞名 ()

1. あなたの性別 ☐ 男 ☐ 女

2. あなたの年齢 満 才

3. あなたは在学していますか

☐ 在学中 { 学校名
 小学 中学 高校
 1, 2, 3, 4, 5, 6 1, 2, 3, 1, 2, 3,

☐ 在学していない。

4. あなたは現在学校に通っていますか。

☐ 通っている。

☐ 休んでいる。それは何日前からですか。

()

それはどんな理由からですか。

()

5. この仕事はいつから始めましたか 年 月

6. あなたの家族は何人ですか。

同居の家族 祖父 祖母 父 母 兄 (人) 姉 (人) 弟 (人)

妹 (人) その他 (人)

同居していない家族 祖父、祖母、父、母、兄(人) 姉(人)
 弟(人) 妹(人) その他(人)

7. あなたの家族は何人住んでいますか。

誰	職業	収入
() ()	() ()	() ()
() ()	() ()	() ()
() ()	() ()	() ()
() ()	() ()	() ()
() ()	() ()	() ()
() ()	() ()	() ()
() ()	() ()	() ()
() ()	() ()	() ()

8. あなたの家族に病人がいますか。

○ いはい

○ いいえ

それは誰で、どんな病気で、どれ位い病気していますか。

() ()	() (病名)	() (期間)
() ()	() ()	() ()
() ()	() ()	() ()

Ⅱ 労働条件

9. あなたは住込ですか ☐ 住込み ☐ 通い
10. あなたの仕事はどんな事をするのですか。
- ☐ 新聞輸送 ☐ 新聞紙分
- ☐ 新聞配達 ☐ 集金
- ☐ 読者拡張 ☐ その他雑務
11. あなたの現在の受け持ち部数は何枚で、何軒に配達しますか。 (枚) (軒)
12. 休日は決っていますか。
- ☐ きまっていない。
- ☐ きまっている。
- それは何回位いですか。
- 週(回) 月(回) 年(回)
- ☐ わからない。
13. 先月は何日休みましたか。
- ☐ きまった休日(日)
- ☐ その他の休日(日) 理由は、家事の都合、
学校の都合、病気、その他 ()
14. 休んだ場合は自分の受持の新聞はどんな方法で配達されるのですか。
- ☐ きまっている休日の場合()

○きまっていない休日をとった場合

(

)

15. あなたの仕事は朝夕どちらですか

○ 朝 ○ 夕 ○ 朝夕両方

16. あなたは朝夕何時に販売所に来て、配達の仕事は何時に始まり、何時に終わりますか。

朝 時 分にきて、配達は(時 分 ~
時 分迄)

夕 時 分にきて、配達は(時 分 ~
時 分迄)

17. あなたの先月の給料はいくらでしたか。(円) それは何日付いた分でしたか。(日)

18. あなたの給料はどのような方法で決められていますか。

○ 固定給 日給制(日 円 支) 月給制(月 円)

○ 歩合制(ノ部いくら割合か)(円 支)

○ 固定給と歩合制とからみ合っている。

(どの比率か。)

○ わからない。

19. あなたの給料はどのような方法で支払われますか。

○ ノヶ月まとめてもらう。

○ ノ週間毎にもらう。

○毎日もらう。

Ⅲ そ の 他

20. 何故この仕事をやっているのですか。

○家がこまるから。 ○学費がないから

○小遣銭がほしいから。 ○買いたいものがあるから

(それは何ですか。) その他()

21. この仕事はどこで紹介されましたか。

○直接自分で販売所に行った。

○転業、紹介所ですゝめられた。

○他人にすゝめられた。

{ 先生、家族、友達、近所の人、その他()

22. 先月もらったお金はどうしましたか。

○家に出した。 円 ○学用品を買った。 円

○授業料に支払った。 円 ○雑誌を買った。 円

○P.T.A.の会費を出した 円 ○小遣につかった。 円

○その他 円

23. 朝仕事が終わってから学校の始業時間まで何分位の余裕がありますか。 (時間 分)

24. 学校の授業が終わってから、仕事の時間までどの位いの余裕がありますか。 (時間 分)

25. 食事はいつしますか。

朝食 { 仕事の前(時 分頃) 夕食 { 仕事の前(時 分頃)
 仕事の後(時 分頃) 仕事の後(時 分頃)

26 仕事をしていると学校の勉強の上にこまることがありますか。

○ない ○ある それはどんな事ですか。()

27 仕事の上でこまる事や、いやな事はありますか。

○ない ○ある それはどんな事ですか。()

28 仕事は疲れますか。

非常に疲れる。 やゝ疲れる。 疲れない。

29 仕事は楽しいですか。

○非常に楽しい。 ○やゝ楽しい。

○楽しくない。 ○わからない。

30 この仕事はこゝしばらく続けるつもりですか。

○続けたい。

○やめたい。 それはどうしてですか。

()

31 あなたはこの他に仕事をしていますか。

○いいえ。

○いる。

それはどんな仕事ですか。()

そして、その分の給料はどのくらいですか。(円)

新卒配属の仕事と両立させるのにこまる点がありますか。

○ない

○ある

どんな点ですか。()

GAa1

労働省婦人少年局



女性と仕事の未来誌



00762290